



## 便失禁外来について

肛門外科 部長 柴北 宗顕

### ●便失禁外来の開設

高齢者を中心に便失禁(便漏れ)の症状がある人は推計500万人と言われており、65歳以上の7.5%が便失禁の症状で苦しんでいるという報告があります。病気の特性から、患者さんは周りの人や医療機関に相談できず、一人で悩んでいるのが実情です。川崎病院肛門外科では、少しでも便失禁でお悩みの方のお役に立てればと、平成27年1月より新たに専門的な便失禁外来を開設することとなりました。便失禁外来開設後、兵庫区のみならず、阪神間、姫路の方からも多数の患者さんが訪れ、あらためて便失禁で苦しむ方の深刻さをうかがい知ることができます。

### ●便失禁の原因、診断

便失禁の原因として、1. 加齢による肛門括約筋の衰え、2. 出産時や痔瘻術後の括約筋損傷、3. 直腸の腫瘍や直腸癌術後、4. 糖尿病や神経疾患などの内科疾患、などがあげられています。排便に関連する筋肉のうち、おおむね不随意筋である内括約筋力の低下がおこると、便意を感じず知らない間に便が漏れる漏出性便失禁が生じ、随意筋である外括約筋力の低下が生じると、便意を感じるが我慢できない切迫性便失禁が生じるとされています。また両者が混在する混合性便失禁も認められます。

外来で便失禁患者さんが来院すれば、まず問診を行い便性の状態を確認後、漏れの程度の点数化を行っています。次に肛門診にて、括約筋の強さを大まかに判断したり、他の直腸肛門疾患の有無の確認を行います。さらに直腸肛門内圧検査を行い、静止圧(主に内括約筋力を反映)、随意圧(主に外括約筋力を反映)などを数値化しています。

### ●便失禁の治療

便失禁の保存的治療として、まずは食事指導や薬物治療を行い、便性の安定を図ります。同時に肛門内圧の低下した患者さんには、当院では免許を持ったWOCナースにより骨盤底筋体操の指導やモニター下に肛門括約筋の随意収縮を訓練するバイオフィードバック療法を行っています。以上の方法で5～6割の便失禁患者さんの症状の改善が可能です。

### ◆仙骨刺激療法(SNM)について

仙骨刺激療法(SNM)とは、全身麻酔下の手術により仙骨孔に刺激電極を挿入し(図1)、

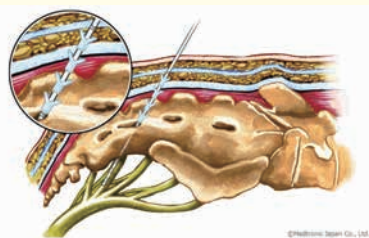


図1：刺激電極を仙骨孔に挿入

刺激装置から発生する電気パルスによって排泄を司る仙骨神経を刺激、括約筋の収縮を促し、便失禁を改善する治療法です(図2)。本邦においては平成26年4月より保険診療が認められるようになりました。適応は保存的療法が無効の患者さんに限られています。刺激装置を埋め込むに先立って、

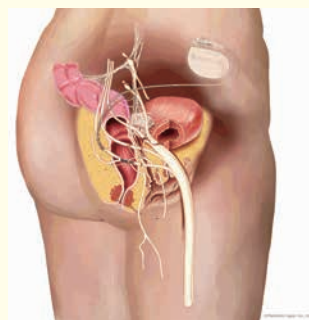


図2：仙骨刺激療法(SNM)

体外型の刺激装置を使い、試験的に約2週間の電気刺激を行います。効果がなければ電極を取り出して治療を中止、効果があれば小型の刺激装置を植込み、電極につなぎます。植込まれた刺激装置は体外からプログラムを用いて設定、変更が可能です(図3)。保険認可に先立って、本邦で行われた前向き多施設共同研究によりますと、22例の便失禁患者さんのうち、最終的に便失禁の頻度が50%以上減少した患者さんが18例(86%)、そのうち4例(19%)は便失禁が完治したと報告されています。特に予期しない合併症は発生していません。仙骨刺激療法の施行にあたって、現時点では施設基準が設定されているとともに、施行医の講習会参加が義務付けられています。川崎病院肛門外科は平成26年8月に兵庫県下で初の仙骨刺激療法施行の認可を受けました。

### ●最後に

便失禁は癌患者さんのように命に関わる状態ではありませんが、その苦痛や日常生活の制限を考えると、力をいれていかなければならない疾患と考えています。また高齢化社会を考えると、今後は社会問題化してくる可能性もあると思われます。まだまだ発展途上の分野ではあり、受診された患者さんが皆満足な結果になっているとは言いきれませんが、川崎病院肛門外科では少しずつ治療の幅を増やしていきたいと考えています。便失禁でお悩みの患者さんがおられましたら、川崎病院肛門外科便失禁外来へのご紹介を宜しくお願いいたします。



図3：刺激装置とプログラム

## 整形外科の戸祭部長 “U-15 サッカー日本代表インドネシア遠征”に 帯同しました

2015年4月12日から19日にかけて、15歳以下サッカー日本代表のインドネシア遠征に整形外科の戸祭部長が帯同いたしました。

このチームは“FIFA U-17ワールドカップ2017”を目指すチームで、今回の遠征ではインドネシアU-15代表チームなどと3試合を行いました。戸祭部長は試合時のサポートはもちろん、宿舎でのミーティングにおいて選手に熱中症予防などについて説明いたしました。



選手に処置を行う戸祭部長  
(右から2人目)

## 新入職医師のご紹介



### 専門分野

循環器内科、一般内科

### 一言メッセージ

平成20年に金沢医科大学を卒業し8年目になります。地域医療を支える一員として頑張りますので、ご指導よろしくお願いたします。

内科副医長  
**松田 剛**  
(まつだ たけし)



## 専門特殊外来担当医表

学会などの諸事情により代診、休診になる場合もあります。  
専門特殊外来は原則、予約(または一般外来の受診)が必要です。

診療科	月	火	水	木	金	土(第2・4は休診)		
内科	午前	市原 紀久雄 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	.....	大塚 章人 【糖尿病外来】 関谷 博顕 【神経内科外来】	村井 潤 桐生 辰徳 【糖尿病外来】 【呼吸器外来】	.....	
	午後	.....	粕本 博臣 【腎臓外来】	久保 聡子 【糖尿病外来】 大塚 章人 【糖尿病連携合併症外来】	粕本 博臣 【腎臓外来】 徳永 俊太郎 【呼吸器外来】	中村 正(第1・3・5) 村井 潤(第2・4) 【禁煙外来】 茶屋原 菜穂子 【腫瘍外来】	飯田 正人 【血液外来】	.....
循環器内科	午前	.....	仲村 輝也 【心臓血管外科外来】(注)	.....	.....	.....	.....	
	午後	.....	.....	(第1・3) 【ペースメーカー外来】	.....	.....	.....	
外科	午前	.....	殿元 康仁 【直腸肛門外来】 9:00~10:00	.....	柴北 宗顕 【直腸肛門外来】 10:00~	柴北 宗顕 【便秘禁外来】 9:30~	(第1・3) 【直腸肛門機能外来】	.....
	午後	阪尾 淳 【乳腺外来】 13:30~	柴北 宗顕 【直腸肛門外来】 14:00~	殿元 康仁 【乳腺外来】 13:30~	.....	柴北 宗顕 【直腸肛門外来】 14:00~	(第2・4) 【ストマ外来】 14:00~	.....
整形外科	午前	.....	.....	.....	.....	.....	戸祭 正喜 【スポーツ外来】	
耳鼻咽喉科	午後	.....	.....	.....	(第1・3・4・5) 【補聴器外来】 要外来受診	.....	.....	
形成外科	午前	.....	.....	.....	【フットケア外来】	.....	.....	
	午後	【リンパ浮腫外来】 要外来受診	.....	.....	.....	.....	.....	

(注) 心臓血管外科外来では、心臓弁膜症などの疾患に対する外科的治療について検討を行い、手術適応症例については大阪大学心臓血管外科(患者さんの希望によっては近隣病院)に紹介致します。

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297

## その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

学会などの諸事情により代診、休診になる場合もあります。

標榜科	専門	医師名および診療曜日	標榜科	専門	医師名および診療曜日
内科	糖尿病	市原 紀久雄(金曜 午前) 大塚 章人(月曜 午前)	消化器内科	悪性疾患(膵臓癌、胆管癌等)により 黄疸が出た時のステント減黄術	前田 哲男(月曜 午前/水曜 午前) 野村 祐介(火曜 午前/木曜 午前) 西田 悠(金曜 午前) 多田 秀敏(火曜 午前/金曜 午前)※内科2診で診察
	肥満、高脂血症、痛風	中村 正(月曜 午前/水曜 午前)		消化器癌の早期発見と 内視鏡治療	
	血液	飯田 正人(月曜 午前/水曜 午前/木曜 午前)			
	腎臓	辻尾 成人(月曜 午後)			
耳鼻 咽喉科	睡眠時無呼吸症候群	下屋 聡子 (月、水、木、金、土 午前) 土曜日は第3・5のみ	循環器内科	冠動脈疾患	全医師が対応致します
	中耳炎		末梢動脈疾患		
	アレルギー性鼻炎		整形外科	小児全般	戸祭 正喜 (月曜 午前/金曜 午前)
	副鼻腔炎			手全般	
	扁桃炎			スポーツ障害全般	
	声帯ポリープ		眼科	涙道手術	松嶋 真弓(火、水、金 午前)
	突発性難聴				
顔面神経麻痺					
形成外科	眼瞼下垂	永井 宏治 (月、火、木、金 午前)	歯科 口腔外科	感染症	全医師が対応致します
	鼻の手術			腫瘍(悪性、良性)	
	顔面骨折			顎骨骨折	
	美容医療			インプラントおよび インプラントのための骨再生	
	良性・悪性の皮膚腫瘍				

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297